

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 検証結果一覧

No.	事業名	事業目的・概要	事業費 (千円)	実施内容	効果検証
1	避難所環境整備事業	夏場の災害発生時における避難所での新型コロナウイルス感染防止ため、熱中症対策と感染対策に必要な資機材を配備する。	1,822	スポットクーラー 5台 267,885円 大型送風機6台、コードリール6台 70,416円 可搬型給電器 1台 715,000円 蓄電池 一式 599,500円 テント 20個 169,400円	避難所に感染症対策用の備品等を配備することにより、避難所を開設した場合の感染症拡大防止の強化につながった。
2	公共空間・安心確保事業 (役場)	役場庁舎内における新型コロナウイルス感染拡大防止のため、庁舎内に飛沫防止パーテーションと空気清浄機を設置する。また職員が分散勤務を行う際に必要な環境整備を行う。	1,393	アクリルパーテーション 326,370円 間仕切りパネル 356,180円 空気清浄機 5台 598,400円 電話機・収納用品等 112,250円	感染症対策用の消耗品・備品等を配備することにより、感染症拡大防止の強化及び施設利用者や、職員の安心につながった。また、状況に応じた分散勤務が可能となり、感染拡大を予防する環境が整備された。
3	オンライン会議環境整備 事業 (庁舎)	庁舎会議室等に非対面により会議を開催できる情報通信ネットワーク環境を整備し、職員の新型コロナウイルス感染防止により、行政機能の維持・向上を図る。	994	庁内LAN配線工事 550,000円 大型ディスプレイ・スタンド 3台 328,440円 ルーター、LANケーブル等 115,682円	当該設備の整備や機器の購入によりオンライン会議の開催やWeb研修への参加が可能となり、感染症拡大を防止しながら、円滑に業務を遂行することができた。
4	地域を消滅させない住民 支援事業 (地域宅配サービス)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売上が減少した飲食店と家庭での食生活を応援するため、村内飲食店の出前代行サービスを実施する。	6,494	業務委託費 6,493,505円 配達数 3,735食	コロナ禍で収入が減少した飲食店のメニューを無料宅配することで営業継続を支援することができた。また、住民の利便性の向上と感染症リスクの低減を図ることができた。宅配サービスを実施することで村内に新たな働き場ができたことで雇用促進につながった。
5	公共交通応援事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が減少し、減収が続く中小私鉄道事業者に対し、安全運行の継続のために必要な設備維持費について支援し、公共の足として不可欠な鉄道を存続させる。	1,224	上信電鉄(株)へ事業継続支援補助金 1,224,000円を交付	本地域における唯一の鉄道事業者である上信電鉄は、住民生活に欠かすことのできない公共交通機関であり、重要な社会基盤として位置付けられ、運行継続のための経費を支援することで、事業継続と安全運行の両立を図ることができた。
6	熱中症対策事業	マスク着用により、熱中症のリスクが高まることから、全世帯に熱中症予防対策物品を配付し、「新しい生活様式」における熱中症予防のポイントを周知することで、熱中症患者を減らし、医療機関等の負担軽減につなげる。	3,643	【物品購入】 冷却タオル 5,100枚 1,844,700円 スポーツ飲料 300ml 8,496本・ 1,798,168円 【配付内容】 冷却タオル 1人 3枚 スポーツ飲料 1人 5本 啓発チラシ	冷却タオルの利用とスポーツ飲料を摂取することにより、家の中で過ごすことが多い生活の中でも熱中症を予防することができた。啓発チラシの配付により、熱中症及び脱水症予防への意識を向上させることができた。
7	花卉新品種導入支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少している花きの消費拡大を支援するため、消費者ニーズに合わせた新品種の導入を行う花卉生産組合に対し、種苗代を助成する。	1,050	南牧村花卉生産組合へ花卉新品種導入支援補助金1,049,519円を交付	花卉新品種導入事業を実施したことで、生産者は消費者ニーズに合う新品種を購入することができ、産地の特産化や高収益化が見込め、コロナ禍で生産意欲が減少していた農家もコロナ禍後の展望が開かれ、意欲の向上にも資した。

No.	事業名	事業目的・概要	事業費 (千円)	実施内容	効果検証
8	南牧村地域振興応援商品券事業	新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けている地域経済の活性化と家計への支援として、村内で使用できる商品券を発行し、全世帯への配付及びプレミアム率100%で販売を行う。	45,263	【配布】 飲食券 1世帯：5千円 共通券 1世帯：5千円+世帯主を除く世帯員1人につき2千円加算 【販売】 飲食券 13,000千円分 完売 共通券 27,000千円分 完売 印刷製本費 913,856円 販売手数料 995,460円 補助・交付金 43,353,500円 【換金率】 98.2%	配付分・販売分ともに換金率は高く、家計への支援と消費喚起で地域経済の活性化へとつながり地元事業者の事業継続に効果があった。
9	ステイホーム応援&事業継続支援事業	冬季期間中の在宅時間を快適に過ごしてもらい、健康維持による感染症予防と家計への支援、更には村内灯油取扱い事業者の事業継続につなげるため、灯油券を発行し、全世帯へ配付する。	21,717	【配付】 1~2人世帯：200ℓ分 3~4人世帯：300ℓ分 5人以上世帯：400ℓ分 印刷製本費 166,966円 補助金 21,550,330円 【換金率】 93.1%	感染症予防のため増加する在宅時間を快適に過ごせた。換金率は高く、多くの方にご利用いただき、家庭への支援と、地元事業者の事業継続につながり大きな効果があった。
10	ネット環境改善事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響によるテレワーク等の普及により、村営ケーブルテレビで運営しているインターネットサービスの通信速度が低下しているため、回線速度を増速し、通信環境の改善を図ることで、テレワークの活用を促進する。	3,982	インターネット接続料 回線増速分(100M→200M) 5月~3月分 3,981,550円	インターネット回線の増速により、一時的に速度の改善がみられ、テレワークを目的に加入した村民もみられた。 全国的なインターネット利用の増加もあり、今後さらなる改善を検討しなければならない事態も予想される。
11	道の駅感染対策事業	道の駅の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、道の駅に衛生用品を支給する。	278	衛生用品の購入 277,972円 消毒用アルコール 60本 不織布マスク 100箱 ビニール手袋 50箱 等	衛生用品を利用することで安心して営業また、利用していただけることにつながった。
12	電子黒板導入事業	感染拡大により学校が休校した場合に備え、小中学校にオンライン授業に対応した電子黒板を導入し、タブレットと併用したより魅力的なオンライン授業を目指す。	1,007	電子黒板の設置 3台 1,006,500円 小学校 2台 中学校 1台	電子黒板の導入により、登校できない児童生徒がタブレットを使用しながらオンラインで学校の授業に参加できるようになった。また、平常時はより効果的な授業を行ったり、オンラインによる打合せや会議を行うことにより、教員の働き方改革にも有効活用されている。
13	民俗資料館館外トイレ設置	民俗資料館周辺は、人気の山や滝が多く年間を通じで多くの観光客訪れているが、周辺にトイレがないことから、登山や滝めぐりを目的とした不特定多数の観光客が随時、資料館内のトイレを利用し密が生じているため、資料館の屋外に登山客等が利用できる洋式水洗トイレを設置し、資料館利用者と動線を分けることで密を回避し、新型コロナウイルス感染リスクを低減させる。	715	簡易トイレの設置 一基 工事費 715,000円	館外にトイレを設置することで、館内利用者と観光客との接触を未然に防ぎ、感染リスクを低減させることができた。また、資料館利用者と観光客双方が安全に利用できる環境も整備することができた。
合 計			89,582		